



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY



第6回例会(8月21日)
令和2年8月21日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正
幹 事 大平 騰一
報 佐藤 仁志
TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



ゲスト卓話

地域防災支援の取組み (令和元年東日本台風への対応)

盛岡地方気象台 台長

安齊 良悦 様

●スピーカー紹介●

1960年(昭和35年)宮城県大崎市 出身
1981年(昭和56年)盛岡地方気象台 採用
仙台管区気象台、気象衛星センター、気象庁予報部、
同観測部などを経て
2017年(平成29年)南大東島地方気象台長
2019年(平成31年)現職

地域防災支援の取組み

気象庁では、近年相次いで発生している自然災害を踏まえ、地方気象台が自治体等と一体となって地域の気象防災に一層貢献していくため、地方気象台の業務・体制の強化を進めています。

盛岡地方気象台では、緊急時、市町村の避難勧告等の発令を支援する「岩手県風水害対策支援チーム」での気象予測資料に基づく提議、さらに迫る気象災害への危機感を台長から首長へ直接伝えるホットラインや気象台職員を県や市町村の災対本部等へ派遣しての気象情報の解説等を実施しています。さらにこれらの実効性を高める取組みとして、平時には気象台長が県内市町村を訪問し首長との意見交換を毎年実施し「顔の見える関係」の構築・深化を図っています。また、防災知識の普及啓発にも取り組んでおり、各市町村の防災研修等への講師派遣、さらに教育機関と連携した防災教育への支援にも取り組んでいるところです。

令和元年東日本台風

令和元年10月12日から13日にかけて、台風第19号が岩手県の沿岸に接近しました。24時間降水量は普代437ミリ、岩泉町小本416ミリ、宮古394.5ミリとそれぞれ観測史上1位を記録し、沿岸北部を中心にまさに「これまでに経験したことのない大雨」となり、甚大な災害を引き起こしました。この時、盛岡地方気象台は沿岸の市町村と一関市の計14市町村に大雨特別警報を発表

しました。これは特別警報の運用開始(2013年)から岩手県では初めての発表でした。また、この台風第19号について、気象庁は「令和元年東日本台風」と名称を定めました。これは、防災関係機関等による災害発生後の応急・復旧活動の円滑化を図るとともに、当該災害における経験や貴重な教訓を後世に伝承することを期待するものです。

気象災害からの教訓

平成30年7月豪雨では、西日本の広い範囲で記録的な大雨となり、甚大な河川の氾濫や土砂災害が広域で発生、さらに人的被害は平成最大となる等、大変痛ましい災害となりました。気象庁は、緊急会見等で厳重な警戒が必要なことを事前に広く伝え、また市町村からの避難情報の発令やハザードマップ等によるリスク情報も提供されていました。しかし、必ずしも住民の避難行動につながらなかったということが大きな課題となりました。

これを受けて住民がとるべき行動を5段階に分けた警戒レベルの運用が令和元年の出水期から始まりました。警戒レベル3は高齢者等避難、警戒レベル4は全員避難です。なお、大雨特別警報が発表された場合には、土砂崩れや浸水による何らかの災害が既に発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当する情報であり、特別警報の発表を待ってから避難するのは命に関わる事態になりかねません。

防災気象情報の活用

大雨となることが予想された場合、気象台は、数日前～約1日前に早期注意情報を、半日～数時間前には大雨・洪水注意報、数時間～2時間前には大雨・洪水警報等の防災気象情報を順次発表、さら市町村からは避難情報が段階的に発表されます。

大雨による主な災害は、大きく土砂災害、浸水害、洪水害があります。気象庁では、これに災害の危険度をメッシュ情報として、実際に自分が今いる場所での危険度の高まりを把握できるツールとして、「危険度分布」を気象庁ホームページで提供、スマホでも簡単にご覧いただけます。これら防災情報に応じた、災害への備え、避難行動等をとることが肝要です。

地球温暖化と気候変動

「令和元年東日本台風」を始め、近年は雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しています。全国的には、1時間降水量が50ミリ以上の非常に激しい雨の年間発生回数が、最近10年間は1976～1985年の10年間と比較して約1.4倍増加しているというデータもあります。

地球温暖化により、盛岡では年平均気温が100

年あたり1.7度の割合で上昇しており、このまま温暖化が進んで、また何も対策を講じなければ年平均気温は100年で約4.6度上昇すると予測されています。これは、盛岡が現在の奈良と同程度になることを意味しています。また、気温が上昇することで、大気中に多くの水蒸気が蓄えられることから、激しい雨の発生も岩手県では100年で約2.5倍に増えるのではないかと、いうちょっと心配な予測も出されているところです。

おわりに

盛岡地方気象台では適時的確な防災気象情報の発表に努めています。日頃からお住まいの地域のハザードマップや避難場所等を確認頂き、大雨等の際には市町村から発令される避難等の情報に従うのはもちろんのこと、気象台からの情報も参考にして早め早めに避難行動を取ることが肝要です。どうしても「自分は大丈夫」という心理が働いてしまうかもしれませんが、自分の命は自分で守るという意識を持つことで家族など身の回りにいる人たちの命も守ることも出来ます。躊躇せずに積極的に避難行動を取って頂くようお願いします。

SAAからのお願い

クラスター発生防止のため、改めて以下のことをお願いいたします。

会場内でのマスクの着用・会食中はできるだけ私語を慎む・食後は速やかにマスク着用
基本を守り、安全な例会開催にご協力ください。

例会報告

第6回例会
令和2年8月21日(金)

12時30分 開会点鐘
・司会 米内正会長
・ロータリーソング
(それでこそロータリー)

- ・ゲスト
安齊良悦様 (盛岡地方気象台 台長)
- ・会長報告 米内正会長
- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・委員会報告

- メイクアップ
Eクラブ=柴田君
クラブ委員会=藤村・畠山・吉田(育)君

出席報告

会員数/77名

出席数/48名

出席率/64.86%

前々回/69.86%



プログラムのお知らせ

- ・8月28日(金) ゲスト卓話 宮本麗美様 (株)テレビ岩手アナウンサー) 「24時間テレビとテレビ岩手」
- ・9月4日(金) 新入会員卓話 佐藤康会員
- 11日(金) 会員卓話 川村登会員 「盛岡ロータリークラブ80周年を顧みて」
- 18日(金) 特別休会①

●本号編集担当/伴 亨